



2023-2024年度

2024年1月24日(水)

WEEKLY NEWS

【23回】

通算 2484回



国際ロータリー第2640地区

和歌山東南ロータリークラブ【週報】

会長:塩崎和仁 幹事:坂本武司 会報委員長:小林一三

事務局 E-Mail: rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:村アパローム紀の国 第1,第2,18:30~(夜) 第3,第4,第5,12:30~(昼)

先週例会報告 会場監督 中岡隆文

ゲスト:スペシャルオリンピックス日本・和歌山 事務局長 西浦千賀子様

《 会長挨拶 》 塩崎和仁会長

- ① 山本会員が他界してもう一年です。早いもんですね。お通夜の時、大雪で大変だったことを思い出します。
- ② 「スペシャルオリンピックスがアスリートたちにもたらす力」スペシャルオリンピックス日本・和歌山 事務局長 西浦千賀子様 本日は宜しくお願い致します。
- ③ 『和歌山南RCとの合同例会』2月14日(水) 18時30分～ 宜しくお願い致します。
- ④ 第4回 和歌山市内9RC会長・幹事会坂本幹事と一緒に参加してきました。 ※和歌山中RCより「I.M. (インターシティミーティング)」について ※「令和6年能登半島地震」の支援について
- ⑤ 金田秀紀様の入会が承認されました。
- ⑥ 今日も冷えますご自愛くださいませ。



《 幹事報告 》 坂本武司幹事

- ① 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
 - ・2023年決議審議会 決定報告書(審議会で採択された7件は今後、RI理事会で検討されます)
 - ・2024-25年度 RI テーマ発表「ロータリーのマジック」
- ② 先週(1/17)例会で回させていただきました「能登半島地震支援金」BOX募金、22,000円集まりました。ご協力ありがとうございました。
- ③ 御坊RCより創立70周年記念ゴルフ大会のご案内が届いております。

日時:3月20日(水・祝春分の日) 受付8:00~、アウト・インスタート8:30~

場所:紀南カントリークラブ(日高郡印南町)、参加費:3,000円、プレイ費:ビジターフィ11,980円(各自精算願います) 今から出欠表を回覧いたしますので、ご記入お願い致します。
- ④ 第36回全国ローターアクト研修会 山形大会のご案内

日時・場所:3月23日~24日、山形テルサ(山形市)
- ⑤ 地区ローターアクトクラブ地区連絡協議会(上半期活動報告)の案内

日時・場所:2月3日(土)南海波切ホール、①会長幹事会 11:00-12:00、②地区連絡協議会 13:30-16:00、ロータリアンの皆様のご参加も大歓迎致しますので、この機会にローターアクトについての理解を深めて頂ければ幸いです。とのことでした。



本日の出席報告					寄付金	ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南育英会
会員総数	39名		出席者	出席率					
出席免除会員	2名	1/24	23名	60.53%	累計	1,506,189	161,000	201,000	10,000

《 幹事報告 》 坂本武司幹事

- ⑥ 今期3回目の東南育英会奨学金を本日、向陽高校へ15:30に持参致します。
参加者は塩崎会長、土屋青少年奉仕委員長、幹事の私です。
- ⑦ 本日例会終了後、臨時理事会を開催致します。役員・理事の皆様、宜しくお願い致します。

《 ニコニコ箱報告 》 中曾真二郎会計

塩崎君：西浦千賀子様 本日は宜しくお願いします。
坂本君：寒いですね。皆様 御自愛ください。
中曾君：西浦様 山中様 本日はどうぞよろしくお祈りします。



外部卓話 「スペシャルオリンピックスがアスリートたちにもたす力」

NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・和歌山 事務局長 西浦千賀子様



スペシャルオリンピックスは知的障害のある人たちの成長にスポーツが大きなプラスになり、またスポーツを通じて知的障害のある人と共に活動することは地域社会にとっても大きなプラスになると考えています。継続的なトレーニングを実施し、その成果を競技会やブロック大会、ナショナルゲームで発表します。日常のプログラムでは出来るだけ個人の能力に合わせてプログラムを提供しています。また、競技会、大会ではディビジョニングを実施し、競技能力によってクラス分けをします。このディビジョニングをすることによって一人一人のアスリートの能力を十分に発揮し、一番輝く機会を得られると考えています。また、頑張った全てのアスリートにメダルやリボンがかけられ、全員が表彰台に上がります。

アスリートたちは重度軽度に関わらず知的障害を持っているので初めからスムーズに参加できない人もいます。それでも皆、回数を重ねるうちプログラムに見通しを持ち、コーチや他のアスリートとの仲間意識が出来、楽しく参加してくれるようになります。また、大きな大会に参加すると慣れない場所、人、式典等とても緊張しますが、その緊張も経験することによって次は落ち着いて出来るようになります。障害があっても彼らはさまざまなことを自らの成長の糧にしていきます。それは親も同様で、初めはなかなか自分の子から離れられず、「うちの子は障害があるからそんなことは難しくて出来ない」と思い込んでいる人がほとんどです。けれども、SOに参加し成長していく我が子を見て、親も変わっていきます。少しずつ手を離し、自立させたいと考えるようになります。SOでいろいろな人と出会い、いろいろなことを積み重ねていくことはスポーツの場面だけでなく社会生活においてもこれから年齢を重ねていく彼らの人生においてもとても大切で、なくてはならない経験です。おかげさまでSON和歌山は世話人会から数えて16年の年月を経て2023年1月特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受けることが出来ました。

また、昨年11月18-19日冬季ナショナルゲーム長野大会にフロアホッケーのアスリート2名、コーチ2名を派遣し、1人は見事金メダルを獲得することができ、もう1人はディビジョンの関係で男子7人の中に女子1人という厳しいグループで競い7位という結果でした。悔しさをこらえ、笑顔で1位のアスリートにおめでとうと言えた彼女は大きく成長したと思います。

また今年2月10~11日北海道名寄市で冬季ナショナルゲームアルペンの部が開催されます。アスリート2名、コーチ2名を派遣します。まずは元気に楽しんできてくれることを期待し、送り出したいと思います。

